



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日伝

コード番号 9902 URL <http://www.nichiden.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福家 利一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 兼 総務部長 (氏名) 檜垣 泰雄

TEL 06-7637-7000

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	49,779	0.8	1,998	△9.6	2,140	△7.3	1,609	△2.0
28年3月期第2四半期	49,398	—	2,210	—	2,309	—	1,642	—

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 1,736百万円 (167.4%) 28年3月期第2四半期 649百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	102.51	—
28年3月期第2四半期	104.50	—

(注)平成28年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	79,485	64,442	81.1
28年3月期	79,878	63,726	79.8

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 64,442百万円 28年3月期 63,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	3.4	5,290	4.4	5,450	4.3	3,560	0.1	226.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	15,943,000 株	28年3月期	15,943,000 株
29年3月期2Q	241,115 株	28年3月期	241,071 株
29年3月期2Q	15,701,904 株	28年3月期2Q	15,716,983 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
(生産、受注及び販売の状況)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、中国をはじめとした新興国の景気減速の影響に加え、為替変動による業績悪化懸念から足元の景気回復に停滞感がみられ、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループを取り巻く機械器具関連業界においては、円高により輸出に力強さを欠くものの、維持・更新を中心に設備投資需要は底堅く、堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画『NEXT FIELD 2017』の2年目として、当社の「新たな商社機能」の強化と提供価値の向上に取り組んでおります。

具体的には、平成28年5月に、当社の経営方針・具体的施策についてお取引先様にご理解・ご協力をいただくため、「事業方針説明会」を実施いたしました。また、平成28年4月にポートメッセなごやで開催された「名古屋機械要素技術展」に出展、平成28年6月に東京ビッグサイトで開催された「国際食品工業展 (FOOMA JAPAN)」および「機械要素技術展」に出展いたしました。さらにユーザー様との接点の場として、お取引先様との協働による展示会の開催や、ユーザー様の工場へ出向いて行う出張展示会を各地域で随時実施し、「商売の芽」となる情報獲得機会の増大に取り組みました。

人財の育成については、環境が変化する中で自己変革に挑戦し競争力を生むための人財づくりを目指し、従来からのメニューに自社独自の研修プログラムも組み込み、展開を開始しております。

また、平成28年8月には3年ぶりとなる総合カタログMEKASYS2016年版を発刊し、運用を開始いたしました。本カタログは、紙面上で概ねの商品選定が可能となる「組込部品カタログ」と、過去に掲載できなかったメーカーを含めた約300社を代表的な商品写真と共に紹介した「プロダクトガイド」の2冊組となっており、設計や生産現場の様々な部署でご活用いただける構成となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高497億7千9百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益19億9千8百万円（前年同期比9.6%減）、経常利益21億4千万円（前年同期比7.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、16億9百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億9千3百万円減少し、794億8千5百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ24億2千6百万円減少し、585億3千7百万円となりました。これは、電子記録債権が7億2千万円増加したものの、現金及び預金が13億5千2百万円、受取手形及び売掛金が18億8千6百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ20億3千2百万円増加し、209億4千7百万円となりました。これは、投資有価証券が19億4千2百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億9百万円減少し、150億4千2百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ10億5千9百万円減少し、120億8千万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が9億6千万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4千9百万円減少し、29億6千1百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が5億8千8百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べ7億1千5百万円増加し、644億4千2百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ88億5千3百万円減少し、175億9千7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、18億7百万円(前年同期において得られた資金9億4千6百万円)となりました。これは主に、仕入債務の減少額が8億6千9百万円、法人税等の支払額が7億1千3百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が21億4千万円、売上債権の減少額が10億5千2百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、95億1千5百万円(前年同期において使用した資金14億6千3百万円)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が75億8百万円、投資有価証券の取得による支出が15億3千万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、10億9千6百万円(前年同期において使用した資金10億5千2百万円)となりました。これは、配当金の支払額が10億2千2百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点では、平成28年5月9日の決算発表時に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,815	26,463
受取手形及び売掛金	22,692	20,806
電子記録債権	4,245	4,965
商品及び製品	5,505	5,716
その他	707	591
貸倒引当金	△3	△6
流動資産合計	60,963	58,537
固定資産		
有形固定資産	12,821	12,543
無形固定資産	489	865
投資その他の資産		
その他	5,609	7,538
貸倒引当金	△4	△0
投資その他の資産合計	5,604	7,538
固定資産合計	18,914	20,947
資産合計	79,878	79,485
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,989	10,028
未払法人税等	818	780
賞与引当金	556	494
その他	775	776
流動負債合計	13,140	12,080
固定負債		
退職給付に係る負債	99	94
その他	2,911	2,867
固定負債合計	3,011	2,961
負債合計	16,151	15,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,368	5,368
資本剰余金	7,283	7,283
利益剰余金	49,829	50,418
自己株式	△671	△671
株主資本合計	61,809	62,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,820	2,051
為替換算調整勘定	97	△6
その他の包括利益累計額合計	1,917	2,044
純資産合計	63,726	64,442
負債純資産合計	79,878	79,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	49,398	49,779
売上原価	42,265	42,716
売上総利益	7,132	7,062
販売費及び一般管理費	4,921	5,063
営業利益	2,210	1,998
営業外収益		
受取配当金	56	65
仕入割引	178	175
その他	48	90
営業外収益合計	283	331
営業外費用		
支払利息	33	32
売上割引	140	143
その他	10	14
営業外費用合計	184	189
経常利益	2,309	2,140
特別利益		
固定資産売却益	66	-
退職給付制度改定益	334	-
特別利益合計	400	-
特別損失		
固定資産処分損	3	0
減損損失	210	-
特別損失合計	214	0
税金等調整前四半期純利益	2,495	2,140
法人税、住民税及び事業税	675	686
法人税等調整額	177	△155
法人税等合計	853	530
四半期純利益	1,642	1,609
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,642	1,609

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,642	1,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△569	231
為替換算調整勘定	14	△104
退職給付に係る調整額	△438	-
その他の包括利益合計	△992	126
四半期包括利益	649	1,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	649	1,736

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,495	2,140
減価償却費	238	318
減損損失	210	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△388	△5
売上債権の増減額(△は増加)	760	1,052
たな卸資産の増減額(△は増加)	△506	△237
仕入債務の増減額(△は減少)	△420	△869
その他	△435	85
小計	1,955	2,483
利息及び配当金の受取額	70	69
利息の支払額	△33	△32
法人税等の支払額	△1,044	△713
営業活動によるキャッシュ・フロー	946	1,807
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21	△7,508
定期預金の払戻による収入	1	5
有形固定資産の取得による支出	△1,585	△37
有形固定資産の売却による収入	358	-
投資有価証券の取得による支出	△240	△1,530
投資有価証券の償還による収入	100	-
その他	△76	△444
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,463	△9,515
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△110	△0
配当金の支払額	△864	△1,022
その他	△77	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,052	△1,096
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,568	△8,853
現金及び現金同等物の期首残高	27,144	26,450
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,576	17,597

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(生産、受注及び販売の状況)

① 販売実績

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)		比較増減
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
動力伝導機器	21,706	43.9	21,457	43.1	△249
産業機器	11,189	22.7	11,332	22.8	143
制御機器	16,502	33.4	16,989	34.1	487
合計	49,398 (608)	100.0 (1.2)	49,779 (506)	100.0 (1.0)	381 (△102)

(注) 1 ()内は輸出高及び輸出比率であり、内数であります。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 仕入実績

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)		比較増減
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
動力伝導機器	18,442	43.3	17,869	41.8	△573
産業機器	9,651	22.7	9,815	22.9	164
制御機器	14,490	34.0	15,106	35.3	615
合計	42,584	100.0	42,790	100.0	206

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。